

広報
[なか]

NAKA

2022 夏号 VOL.179

公益社団法人 名古屋中法人会





DIARY 2022	1
第11回通常総会	2
総会あいさつ 会長 杉浦 正樹	
総会表彰	
総会記念講演 狂言師 野村 萬斎氏	5
狂言「棒縛」解説 狂言師 中村 修一氏	8
狂言「棒縛」公演	
太郎冠者 野村 萬斎、主 野村 太一郎、次郎冠者 野村 裕基	9
シリーズ この人 狂言師 野村 萬斎氏、野村 裕基氏	10
シリーズ お時間拝借	14
京菓子司 亀広良 代表 三谷 和則氏、三代目 三谷 謙一氏	

《健やかサークル》

冷凍保存のコツ	18
---------	----

《ものづくり愛知の至宝》

住吉模様小袖	19
--------	----

《社長の“やる気”サポート》

女性部会、青年部会、経営研究会事業	20
正副会長会、常任理事会、理事会	23
新入社員研修会	24
大規模経営者局長講演会、委員会、支部会、決算期別研修会	26

《ダカラオモシロイNAKA》

新型コロナワクチン職域接種	28
冊子寄贈 中区小中学校 全校生徒	30

シリーズ 名古屋の老舗百年

株式会社 松屋コーヒー本店 会長 松下 和義氏	32
-------------------------	----

《会員サロン》

料亭つたも 会長 深田 正雄氏	36
新しいお仲間です	39

《行事メモ》《お知らせ》名古屋中税務署 新幹部の皆様	40
----------------------------	----



表紙の写真

狂言師 野村 萬斎

1966年生 東京藝術大学音楽学部卒
狂言師 重要無形文化財総合指定者
「狂言ござる乃座」主宰
1994年文化庁芸術家在外研修制度により渡英
芸術祭新人賞・優秀賞、芸術選奨文部科学大臣新人賞、
朝日舞台芸術賞、観世寿夫記念法政大学能楽賞、松尾芸
能大賞受賞等受賞多数
著書『萬斎でござる』『MANSAI◎解体新書』（朝日新聞出版）、
『狂言サイボーグ』（日本経済新聞社／文春文庫）等
東京藝術大学客員教授、石川県立音楽堂邦楽監督、公益
財団法人全国公立文化施設教会会長



jul. 7

- 11月 国税局・税務署 人事異動
(発令は10日付)
- 12火 県連・事業委員会
大同生命ビル2階 15:00
- 14木 第31回広報委員会
事務局会議室 10:00
- 15金 新任税務署長等幹部あいさつ
名古屋中税務署 13:00
- 19火 県連・広報委員会
大同生命ビル2階 15:00
- 20水 決算期別研修会(7~9月期)
昭和ビル9階ホール 13:30
講師:名古屋中税務署担当官
- 22金 経営研究会・青年部会合同事業
錦三夏まつりNAKAビアフェス
2022
錦三丁目東本重町通 18:00
- 25月 日経「景気討論会」(当会後援)
参加募集は日本経済新聞HPより
名古屋マリオットアソシアホテル
13:30
県連・税制委員会
大同生命ビル2階 15:00
- 27水 県連・総務委員会
大同生命ビル2階 15:00

aug. 8

- 2火 経営研究会事業
「楽しく税を学んでもっと名古屋
を好きになる」
名古屋能楽堂 10:00
- 3水 第11回理事懇談会
名古屋東急ホテル 16:30

4木 県連・理事会、
理事・委員合同懇談会
名古屋観光ホテル 16:00

sep. 9

- 1木 県連 組織・厚生委員会
名鉄グランドホテル 13:30
- 7水・14水・21水・28水・10/5水・
12水 の延べ6日
「第77回・やさしい法人税セミナー」
講師:税理士 小掠 めぐみ 氏
昭和ビル9階ホール 13:30
- 23金 女性部会・社会貢献事業
《キッズダンス・フェスティバル2022》
中電ホール
- 未定 女性部会「絵ハガキコンクール」
審査会
名古屋中税務署会議室

oct. 10

- 6木 「初心者のための源泉所得税説明会」
講師:名古屋中税務署担当官
東京第一ホテル錦 14:00
- 13木 法人会全国大会千葉大会
幕張メッセ
- 10金 「名古屋ニコニコランド2022」
~ココロもカラダも元気な名古屋~
- 19水 「大規模法人税務研修会」
名古屋中・名古屋東・
千種法人会合同開催
講師:名古屋国税局調査部長・
審理課長ほか
東京第一ホテル錦 14:00
- 未定 新設法人研修会
講師:名古屋中税務署担当官

nov. 11

- 11金~17木 税を考える週間
- 10木 令和4年度名古屋中税務署納税
表彰式
KKRホテル名古屋 午前
- 12土 「中法人会TAX杯」
ミニサッカー大会
- 13日 「暮らしの中の税金展」
税の作品表彰式
昭和ビル9階ホール
- 16水 決算期別研修会(10~12月期)
講師:名古屋中税務署担当官
昭和ビル9階ホール 13:30
- 25金 第36回青年の集い(沖縄大会)
沖縄アリーナ
- 30水 県連運営研究会
名古屋東急ホテル 14:30

dec. 12

- 7水 愛知県連 税制講演会
ウイנק愛知

色文字は一般参加の事業
新型コロナウイルス感染拡大等の状況により、
変更または中止となる場合があります。
名古屋中法人会ホームページをお確かめのうえ
お出掛けください。
<http://www.meinaka-hojinkai.or.jp/>



会長あいさつ

公益社団法人 名古屋中法人会の第11回通常総会の開会にあたり、一言ごあいさつを申し上げます。

会員の皆様におかれましては、日頃から会の運営と事業活動に対し、ひとかたならぬご支援とご協力をたまり、厚く御礼申し上げます。

昨年の世界を取り巻く環境は、2年間蔓延し続けた新型コロナウイルスの感染拡大が、オミクロン株をはじめとする新たな脅威を生み出し、我が国においても経済、産業、文化すべての面で大きな影響を受け、社会生活に大きな制約をもたらした一年でありました。

そのような暗い話題の中、2020東京オリンピック・パラリンピックと、北京での冬季オリンピック・パラリンピックが無事に開催され、経済活動や文化交流の盛り上がりを発端として、国内経済の明るい兆しが訪れることを誰もが望んでいるところであります。

また、東海地区においては飲食業や宿泊業等は厳しい状況が続いておりますが、自動車産業を中心とした製造業の業況回復が他地域と比べ比較的早いこともあり、明るい未来に向けての推進役となることが期待されています。

私どもの通常総会も、コロナ禍の影響から2年にわたり規模を大幅に縮小しての開催としてまいりましたが、新型ウイルス感染もやや落ち着きをみせていることから、本年は来賓の皆様をお迎えして、また会員の皆様にも実際にお集まりいただいてこのような総会と記念講演会が開催できたことを皆様方に深く感謝申し上げます。

なお、今後の法人会活動の先行きは、感染の終息次第というところではありますが、名古屋中税務署はじめ関係機関の皆様のご協力を得ながら、公益法人としての使命を達成する所存です。そのためには、本部・支部・部会・関係機関との連携を密にし、地域企業の健全な発展並びに地域社会への貢献を目的とした活動を推進し、魅力ある法人会を目指し、努力してまいります。会員の皆様におかれましては、なにとぞ一層のご理解とご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びになりましたが、この新型コロナウイルス感染拡大の一日も早い終息と、会員各社のますますのご繁栄を祈念いたしまして、私の挨拶とさせていただきます。



杉浦 正樹

コロナ禍続くなか、ロシア・ウクライナ戦争

第11回通常総会



日時／令和4年5月24日(火)

14時30分～15時20分

会場／名古屋東急ホテル3Fウェルサイユの間

祝 辞



祝辞 名古屋中税務署長
太田 善美 氏



開会の言葉
高橋 公比古 氏



議長
杉浦 正樹 氏



議案説明
鶴岡 一美 氏



監査報告
宮崎 敏明 氏



閉会の言葉
瀧 健太郎 氏



総合司会
加藤 育美 氏



名古屋東急ホテル3F ヴェルサイユの間

本部役員席



来賓席

令和3年度加入勧奨功労感謝状受賞者（順不同）



株式会社水野鞆店
水野 一樹 氏



株式会社保険相談センター
村上 実 氏



大同生命保険株式会社名古屋支社
池野 健一 氏



大同生命保険株式会社名古屋支社
山田 こずえ 氏



名古屋東急ホテル3F ヴェルサイユの間



受付



記念講演

ヒューマンコメディ「狂言」 〜生きること、笑うこと〜

狂言師

野村 萬斎氏

能は慰めの芸能

狂言は七百年ほど前からある芸能で、観る人の経験や年齢によって映し出されるものが変わってきます。今日ご覧になった印象と10年前に観たときの印象が違うこともあるのが狂言の面白さでもありますので楽しみにしていただきたいと思います。

そもそも狂言とは、能と一緒に生まれた芸術で、物まね芸です。テレビで物まねといいますが、コロッケさんがすごいテクニックですが、コロッケさんが物まねするのは有名人、皆様が知っている人でないと面白くありません。

能狂言も同じです。古典の平家物語とか源氏物語などの登場人物をご存じですね。例えば先日大河ドラマで亡くなった源義経、軍事的天才として平家追討の手柄を誇りつつ奥州平泉に逃げ延びる彼を題材にした『勧進帳（かんじんちょう）』という歌舞伎の演目があります。

常に戦い続けなければいけなかった義経、その彼の死。日本人は死後の世界に対する意識が高く、生前どのように生きたか。大抵の人間は後悔のない生き方はできないので、罪にさいなまれている姿を見せるのが煩悩です。悩みや苦しみをお坊さんの前で亡霊となってみせた上で成仏させてもらう、能はそんな生き様を真似している慰めの芸能です。

この^{あた}辺りの者でござる

一方、狂言はどこにでもいそうな人を真似しますので、「この辺りの者でござる」で自己紹介するところから劇が始まります。「この辺り」とはどこか。パリであろうが南極でもいいのです。よく言われるダイバーシティ（多様性）をインクルージョン（お互いに認め合い尊重）する考えが七百

日時／令和4年5月24日(火)

会場／名古屋東急ホテル



年前にすでに考えられていて、「この辺りの者でござる」となるわけです。普遍的な人間の有り様、生き様を見せるのが狂言です。皆様の分身のような、鏡に映された人間です。衣装は簡素で、普段の生活をしているというニュアンスです。

登場人物は、オーダースーツのような派手な小袖と袴（かみしも）の主人と、カジュアルなチェック柄の従者の太郎冠者・次郎冠者です。なんとなくそれで位や立場の違いがわかります。多少の上下関係はありますが、基本的にはどこにでもいそうな人たちばかりです。

台詞は聞いてお分かりいただけると思いますが、もしわ

からない言葉が出てきても聞き流してもかまいません。狂言はシチュエーションを観せるコメディですから、程々に分かればいいと思います。政治的には手腕があっても歌を詠む教養がない人。大したことない大名。偉そうに見えても家では頼りないお父さん。そんな旦那さまを支える逞しい女性など、いまの世相をそのまま写したような逞しく生きる人間たちが登場するのが狂言です。

人間に厳しい目線も

「この辺りの者です」が人間だけというのは人間の傲慢です。狂言は犬や猿、蚊も出てきます。ユニークなのはキノコです。

人間に厳しい目線を与えることもあります。演目の『茸（くさびら）』は、山を壊して家を建てた人の話です。住んでいると家にキノコが生えてきたので、困って超能力をもった山伏（祈祷家）にキノコを取り除いてもらおうとするのですが、なおウジャウジャとキノコが生えてきて最終的には人間が追い出されるのです。

父から聞いた話です。1970年代にニューヨークで父の万作がこの狂言をやったとき、キノコのような笠を被って演じましたので、それがゲリラ戦を仕掛けたベトナム兵のようで、最終的にはアメリカ兵が退散してしまい、ベトナム戦争批判に繋がったようです。

誰かを最辱めるのではなく、多様な人間がそのままあるということに極めて肯定的なのが狂言です。ですから狂言に出てくる蚊とかキノコなどが優秀で、人間は情けない演目が多いのです。そもそも人間は優秀な人ばかりではありません。どんなに優秀な人でも、ちょっとした欲望があるわけで、それを映し出して自分のことも含めて笑い飛ばしていただきたいと演じています。一種のカタルシス（浄化）を感じていただくのが狂言だと思います。

有名な狂言で『附子（ぶす）』があります。附子とはトリカブトという毒がある植物の名前で、狂言を説明するのに



司会 山田 尚武氏



記念講演会 受付



名古屋東急ホテル3F ヴェルサイユの間 記念講演会・特設舞台

好例です。

主人が召し使い二人に、「出掛けるので留守番しなさい。この黒い桶に附子という猛毒が入っているので気をつけなさい」といつけ出かけます。皆様も幼い頃、留守番するときご両親に「冷蔵庫を開けないで」とか、クリスマス近くなら「押し入れを開けないで」とか言われませんでしたか。そうすると人間は知りたいという欲求があります。私は知りたいので開けて罰で押し入れに入れられたのですが、狂言に登場するキャラクターもいつけは守りません。留守番するのは太郎冠者、次郎冠者という二人の召し使いです。太郎冠者は毒を突き止めようとしますが、次郎冠者は恐ろしいので止めようと言うのですが太郎冠者が勝ちます。太郎冠者は桶の中の毒の正体が「砂糖」と知ります。狂言の時代に砂糖は貴重でした。面白いのは狂言では知識欲が満たされると、別の欲、食欲がわいてきます。太郎冠者は躊躇なく全部食べてしまいます。帰ってきたときの二人の言い訳は、「ご主人の大切なモノを壊してしまった（本当はわざとですが）。死んで詫言しようと毒の附子を食べてしまったが死ぬぞ困っている」。一休さんのトンチ話と同じです。

今日はよき納税をするための集まりということで、狂言にも税に関わる話がないか考えましたら、いくつかあります。それらの演目で、お百姓さんが身なりを整え、今年も無事に年貢を納めることができるのは、それだけ実りが多かったという証しです。戦もなく農地も荒らされず働き手もいて、天候も良く病気もなく、いろいろな要素があって、年貢を納めることができ、世の中がうまく回っているということを狂言は語っています。

ゆるぎない信念

いまSDGsとされています。狂言も持続を可能にしてきた芸能で、そこには持続を可能にしてきたいろいろな精神と知恵があると思います。皆様の生活に活かせるヒントを伝統から学んでいただきたいと思います。

能狂言は何もない空間で、無から始まって人が出てきて無に帰すのですが、それは面白い考えだと思います。私たちの衣裳は動きが激しいのでかなり消耗いたしますが、着物は全員で着回すことができますし、先祖代々のもの、能楽の道具も含めてモノを長く使うことを心掛けています。

また私ども一族や一門は狂言を継承していかなければいけません。自分ができることは、芸とそのDNAを後継者たち・お弟子さんたちに役立ててもらふ精神が重要です。職人気質かも知れませんが、強固な方法論が確立されていないなか、たゆまぬ精進とゆるぎがない信念で「笑い」を届けること、次につなぐことが大事だと思っています。

コロナで演劇などが中止になって大激震が走りましたが、私は中止慣れしております。新能は台風が来ればすぐ中止です。能狂言ができた七百年前は室町幕府に抱えられていましたが、応仁の乱という厳しい時代を乗り越えてきたと考えると、決して能狂言は滅びません。舞台芸術も滅びません。人も生きている限り滅びません。

そういう能狂言の不屈の精神、伝統は今を生きる皆様が安心して暮らしていただける材料になると思っています。

※この記事は令和4年5月24日の通常総会の記念講演を要約したものです。





狂言師 中村 修一 氏

狂言『棒縛』解説

狂言『棒縛（ぼうしばり）』

二人の家来が、留守番中に酒蔵の酒を盗み飲んでいると知った主人は、太郎冠者を棒に、次郎冠者を後ろ手に縛って出かけてしまう。それでも酒が飲みたい二人は知恵を絞り、縛られたまま酒を飲むことに成功する。酔った二人が謡えや舞えやと大騒ぎしていると…。

自由の利かない手で酒蔵の戸を開けたり、舞を踊ったりと、遊び心に裏付けられた自由さがある作品です。観ているこちらも心楽しくなる、狂言の代表作の一つです。

狂言『棒縛』

太郎冠者	野村 萬斎
主	野村 太一郎
次郎冠者	野村 裕基
後見	岡 聡史

